

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・客の動向を見ていると欲しい物は買っている。この状況は続くともっている。
	◎	都市型ホテル(スタッフ)	・学会などの開催予定が多く、歓迎会も多くなる見込みである。
	◎	旅行代理店(従業員)	・県内の契約ホテル、旅館の4月先行販売が前年の4月実績との比較で152%となっている。
	○	商店街(代表者)	・大型連休のイベントやクルーズ船の寄港が活発になる。また、気候が暖かくなり外出しやすくなる。
	○	一般小売店〔酒〕(経営者)	・楽観視はできないものの、暖かくなるため県外観光客やインパウンドの需要に期待している。
	○	百貨店(企画担当)	・全体的な傾向としてイベントごとへの関心の高さは継続しているため、今後、気温上昇に伴い、春物などへの購買意欲の向上に期待している。
	○	百貨店(催事担当)	・改装計画が進み、現在クローズしているスペースもオープンすることから、来客数、売上共に増加するとみている。
	○	スーパー(店長)	・新生活が始まり、新規に来店する客を固定客化することで、売上増加につなげることを見込んでいる。
	○	スーパー(企画担当)	・食品小売業界も物価の上昇により一時期低迷したが、現在は販売点数も上がりつつある。この状況は2～3か月先も続くともっている。
	○	コンビニ(経営者)	・暖かくなると来客数は伸びるが、4月からまた電気代が上がるという話もある。これ以上何らかの経費が上がると経営は非常に厳しい。辞めていくオーナーが増えているなか、この先続けていけるのか戦々恐々としている。
	○	コンビニ(エリア担当)	・メーカーの大幅値上げも少し落ち着き、春闘でも賃上げ率が上昇傾向にあるため、今後の景気回復を期待したい。
	○	コンビニ(エリア担当)	・株価が上昇しており、期待が持てる。
	○	衣料品専門店(経営者)	・これから暖かくなり、今よりは購買意欲が上がるとみている。
	○	衣料品専門店(店長)	・出張や社内行事などが活発になっているという客の話を聞く。仕事服を提案している我々の仕事も良くなるとみている。
	○	家電量販店(従業員)	・6月はエアコン等の冷房商品が主に売れる時期に入る。冷蔵庫などの商品は気温に左右されるため、気温が上がれば台数、件数共に伸びる。パリオリンピック開催直前であり、テレビや録画機などが多少盛り上がる。若干良くなると予想している。
	○	乗用車販売店(従業員)	・オーダー停止中の車が徐々に再開するため、2～3か月先は良くなるとみている。
	○	乗用車販売店(従業員)	・しばらくは現状のまま変わらないが、メーカーの生産状況が少しずつ回復し、新車納期が早まるため、売上は伸びるとみている。
	○	住関連専門店(インテリアコーディネーター)	・マンションなどの建設も増え、物件も売れている。景気が良くなることを期待している。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕(経営者)	・暖かくなると人の動きは更に活発になる。また、今年の夏も暑くなると予想されており、熱中症対策関係の商材に動きがあると期待している。
	○	その他専門店〔靴〕(従業員)	・行楽シーズンに向けたウォーキングシューズやスニーカー需要に期待している。
○	高級レストラン(支配人)	・桜のシーズンになるため、景気はやや良くなる。	
○	一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、人が集まることが多くなっている。イベントや家族連れ、団体客の予約が増えているため、やや良くなるとみている。	
○	観光型旅館(スタッフ)	・来客数は徐々に増えている。5月に北陸応援割が終了すれば更に増加するとみている。	
○	都市型ホテル(支配人)	・宴会場やレストランなど全館で先行予約が好調である。	

○	旅行代理店（従業員）	・東北においては桜の時期から夏祭りに向けて需要が拡大するため、販売拡大に期待している。また、大企業の賃上げや決算状況をみると、夏季商戦についても期待が持てる。例年6月のボーナス支給後からマーケットが大きく動くが、今年は春から夏季商戦に向けた準備が必要と考えている。
○	旅行代理店（従業員）	・上場企業の好景気の影響が地方にも出てくると予想している。
○	通信会社（営業担当）	・転勤や入学式等があるため、小売業の消費動向もやや良くなるとみている。
○	テーマパーク（職員）	・来客数、販売数共に増加している。行楽シーズンに突入するため更に増加すると期待している。
○	観光名所（職員）	・ゴールデンウィークに入る。
○	競艇場（職員）	・来場者数は天候に左右される。雪が降らなくなると来場者数は増えるため、景気も良くなるとみている。
○	美容室（経営者）	・地域的に大企業のように賃上げを行っている企業は少ないが期待している。
○	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・株価高や賃金上昇がプラスに作用している。
○	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は、エアコンの前倒し購入や省エネ型給湯器などの補助金についての問合せが増えるとみている。リフォームは、屋外工事や補助金を活用する工事の問合せが増えるとみている。
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・景気はいまだ上向かず、不安しかない。
□	百貨店（従業員）	・高額品や返礼ギフトなどの目的買いはみられるものの、全体としては買い控え傾向が続いている。また、来客数はイベントがあるとき以外は日に日に少なくなっている。
□	スーパー（店長）	・当地域で給料が上がっているか非常に疑問である。物価上昇の影響がスーパーでの消費動向に出てくるとみている。
□	スーパー（店長）	・来客数の動きも商品の動きも変わっていないため、景気は変わらないとみている。
□	スーパー（店長）	・小売業に関しては、外的環境を含め、状況が大きく変わる要因は少ないとみている。
□	スーパー（企画担当）	・商品の特売構成比は上がり、買上点数も減少している。結果的に客単価は下落している。商品価格の上昇が続くなか、給料のベースアップは全体的に進んでいない。また、年金受給額も上がらないため、高齢者比率の高い地域ほど景気回復が厳しい状況は変わらない。
□	スーパー（営業担当）	・賃上げは景気回復には良いが、中小企業では期待できず、景気に変化はないとみている。
□	コンビニ（経営者）	・来客数と買上点数は横ばいだが、値上げにより客単価がアップしている状況が続き、売上を確保できるとみている。
□	コンビニ（経営者）	・地域の人口が減少していることに加え、人の動きがないことから、売上は横ばい若しくは減少するとみている。
□	コンビニ（経営者）	・好転する要因は見当たらないため、変わらないとみている。
□	コンビニ（経営者）	・来客数が増える見込みがないため、変わらないとみている。
□	コンビニ（エリア担当）	・初夏の天候次第である。
□	コンビニ（店長）	・外国人客の来店は多少落ち着き、日本人客は買える人は買いに来る状況が続くとみている。来客数は前年比横ばいか多少悪くなるとみている。
□	コンビニ（店長）	・賃上げも物価の上昇には追い付かないとみている。
□	衣料品専門店（経営者）	・景気は多少上向いているが、今後の金利の動向に注視が必要とみている。
□	衣料品専門店（店長）	・大手企業が賃上げを行うと発表しているが、地方の中小企業までは及んでおらず、大都市圏のように消費が活発になるとは考えにくい。
□	衣料品専門店（店長）	・消費者は長期金利やインフレの今後の動きを慎重にみている。衣服の購入に対してもシビアになっている。
□	衣料品専門店（総務担当）	・春闘満額回答などのニュースをみるが、地方の企業からは所得増加の話は聞かれず、景気回復の期待はない。
□	家電量販店（従業員）	・賃上げが景気に影響を与えるかは疑問である。客も様子をみている。値上げが続いており先を見通せない。

□	その他専門店〔酒〕（経営者）	・都市部の大手企業では賃上げを行っているが、地元にはその影響はなく、しばらくは回復基調と節約志向が均衡した状態が続くとみている。
□	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・原油価格や為替は依然として製品コストの上昇に影響を与えているが、燃料油価格激変緩和対策事業の継続方針が示されたため、現状を維持できるとみている。
□	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・5月までは旅行等外出機会の増加が消費行動にプラスに影響することが期待できる。一部の企業ではベースアップがあるものの全体的には不透明であり、一般消費者の節約志向は続くとみている。
□	一般レストラン（経営者）	・賃金上昇のニュースを聞くが、世間一般の人たちは生活に余裕が出るとはみていない。この状況が続くことを危惧している。
□	一般レストラン（経営者）	・法人関係の動きが出る時期である。また、税制改正により4月からは接待交際費等の上限が上がるため、更に期待が持てる。一方、家庭レベルでは、新生活への出費は惜しまないが、必要ではない若しくは我慢できることについては、消費行動は見込めないとみている。
□	一般レストラン（スタッフ）	・来客数が伸びる要素がない。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・株価は上がっているが、身の回りでは収入が変わらないのに物価高は続いており、景気は良くない。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・好転するような材料がない。
□	通信会社（経営者）	・放送サービスは特別なコンテンツがないため、新規加入者の大幅な増加は期待できない。通信サービスは低価格メニューの通信と放送、電話などのセットで若干の加入増加が見込まれる。
□	通信会社（営業担当）	・好転する材料が乏しい。
□	通信会社（社会貢献担当）	・4月以降は新生活需要が落ち着き、平常に戻る見込みである。
□	観光名所（職員）	・全ての数字をけん引していたインバウンドは大分落ち着いている。旅行会社は国内の募集型企画旅行の集客に力を入れ始めており、入込は順調である。良くなるとも悪くなるともいえない。
□	遊園地（経営者）	・賃上げと物価高の推移が家計にどう影響するかを懸念している。
□	美容室（経営者）	・来店周期が短くなるなど来客数が伸びている。この状況は変わらないとみている。
□	美容室（経営者）	・常連客ばかりなので変わらない。
□	住宅販売会社（経営者）	・複数の法人から現地事務所賃貸物件検索の依頼があるため、中古物件を買付けてリフォームしてから賃貸する形態が出てくるとみている。
▲	商店街（代表者）	・運送費や原材料価格の値上げ、円安等による物価高が続いている。4月以降、地方の企業の賃金上昇分では物価高騰分をカバーできない状況になる。
▲	商店街（代表者）	・中小企業は賃上げに付いていけず、人手不足が加速するとみている。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・大手企業では4月から賃金の引上げがあるが、企業のほとんどが中小企業のため、多くの人たちは賃上げの恩恵が期待できず、消費意欲は高まらない状態が続くとみている。
▲	一般小売店〔雑貨〕（経営者）	・購買意欲を刺激するものがなく、春からの値上げも告知されることから客は値上げ疲れを見せている。必要最低限、売出し商品のみを購入する客が多数いる。地域通貨を全市民に配付しても、額面は前回配付時の半額以下だったこともあり、効果は余り出していない。
▲	百貨店（経営者）	・物価上昇で伸長した売上も、約1年が経過し前年割れの領域が出てきている。賃上げ分がモノの消費に回るかは不透明で、むしろ金融商品、旅行などの消費に回る傾向が強くなるとみている。

	▲	スーパー（経営者）	・3月の賃上げ交渉は大手企業を中心に大幅アップで進んでいるが、中小企業では食品の平均単価上昇率にも追いついていない。4月からは食品の追加値上げや、物流・宅配料金の値上げ、社会保障自己負担額の一部上昇などがあり、実質可処分所得は伸びない。消費者は商品価格に敏感で選択の目も厳しくなっている。引き続き消費は低迷するとみている。
	▲	コンビニ（経営者）	・近くに競合店ができ、その影響が徐々に出てきている。この先良くなる材料がない。
	▲	コンビニ（経営者）	・今後も物価の上昇は続くため、変わらないとみている。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・4月からの大規模な値上げラッシュにより、生活防衛意識が更に高まるとみている。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・受注量が前年より少なくなっていることに加え、配車も減っている。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・6月は毎年販売量の低下がみられる。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・決算期や年度初めの繁忙期が過ぎ、落ち着く時期となる。
	▲	乗用車販売店（店長）	・大手自動車メーカーの不正問題の影響で新車販売が苦戦するなか中古車の商談は活発になっている。しかし、新車納車が少ないため商品車確保ができない状態が継続している。オークション相場も高止まりで推移しているため閉塞感がある。
	▲	住関連専門店（経営者）	・受注生産をしているが、2～3か月先の納品分の受注量は今年よりやや少ない。
	▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・暖かい日が多く、配達灯油の販売が落ちている。
	▲	一般レストラン（経営者）	・4月から値上がりするといったネガティブな報道が多いため、客は消費を少し控えるとみている。
	▲	観光型旅館（経営者）	・賃金が上昇傾向にあっても、値上げや税金等の負担増の影響が大きくなり、景気は悪くなるとみている。
	▲	旅行代理店（従業員）	・新幹線延伸の好影響が一段落する。北陸応援割が終了する。暖冬の影響で桜の開花時期が不透明である。為替の影響とウクライナ情勢の影響で海外旅行をちゅうちょする向きがある。これらの理由により、旅行の先行受注状況は余り良くない。
	▲	タクシー運転手	・官庁、企業、学校などの行事が終了し、スポーツ、芸能関係のイベントのみとなるため、利用者数は多少減少するとみている。
	▲	通信会社（営業担当）	・一時的な景気対策だけでは景気回復は望めない。景気は徐々に悪くなるとみている。
	▲	通信会社（営業担当）	・物価高に対応し切れない。
	▲	設計事務所（経営者）	・既に受注している案件で工期遅延が発生しており、その影響で新規受注を諦めるという悪循環が出ている。遅延理由は建設費用の増加、資材調達の遅れ、技術者不足によるものであり、設計に起因するものではない。この傾向は4月以降の就労時間の総量規制により更に悪化するとみられる。
	×	商店街（代表者）	・4～5月の予約はほとんど入っていない。動きが止まっている状況である。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・最近では生活必需品の価格上昇により家計が圧迫され、健康には金を回せないほどになっている。先々の生活が楽になる見通しが立たない限り、良くて横ばい、人口動態や世界情勢を考えれば更に悪化するとみている。
	×	スーパー（経営者）	・中央と地方、大手企業と中小企業では賃上げで大きな格差があり、地方の中小企業は非常に厳しい状況にある。なかなか可処分所得が伸びず、節約、儉約志向は更に強まるとみている。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・暖冬の影響はかなり引きずるとみている。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・新年度から給与が上がるという話はほとんど聞かない。零細企業には無縁の話である。高価格帯の商品を購入する意欲が高まることはないとみている。
企業動向関連	◎	農林水産業（従業者）	・今年は気温が高めに推移しているが水分も問題なく、花の時期の天候も良好の予報である。今後の天候次第ではあるが、品質の良い果実が栽培できる可能性が高い。

(東北)	<input type="radio"/>	食料品製造業（製造担当）	・需要があっても人材が確保できず対応が制限されている。人材の確保が急務である。
	<input type="radio"/>	金属製品製造業（経営者）	・聞こえ始めた明るいニュースが受注増加につながることを期待している。
	<input type="radio"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・先延ばしになっている案件の正式受注が見込まれる。また、一部事業の動きが良くなっているため、売上増加の期待が持てる。
	<input type="radio"/>	建設業（従業員）	・予定していた大口案件が2件ほど受注できたため、今後は売上が安定する見込みである。
	<input type="radio"/>	金融業（広報担当）	・春祭りの開催や今後の天候により例年以上のインバウンド需要が期待できる。マンパワー不足の常態化は懸念材料だが、建設業や製造業の業況はおおむね回復基調である。大型スーパー撤退発表の影響は、後継先が早々に決まったことから軽微にとどまるものと予想している。
	<input type="radio"/>	経営コンサルタント	・春になるため消費が活性化することを期待している。
	<input type="radio"/>	司法書士	・4月1日から相続登記が義務化されるため、相続登記の依頼が増加するとみている。
	<input type="radio"/>	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・ゴールデンウィークもあり、気温の上昇とともに旅行や観光による人の移動が更に活性化する。
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	・来客数は前年比プラスになっているが客単価が低すぎて苦戦している。物価上昇で財布のひもが固くなっている。
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（営業担当）	・値上げによる小売価格上昇で商品が売れなくなっている。原材料価格上昇に伴い商品の再値上げをしたいが、更に売れなくなってしまうため、自社で吸収している状態である。利益面でも苦しくなっている。
	<input type="checkbox"/>	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・物価高騰が中小企業にダメージを与え続けている。
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合い件数は若干増えつつあり、業界によっては今後忙しくなるとの話も出てきている。しかし、全体的な仕事量が少ないため競争が厳しくなっており、2～3か月後も変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・客先の中期生産計画の見込みが大きくプラスになる情報もなく、低い水準で横ばいになるとみている。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体関連取引先の開発スケジュールの動きが依然鈍く、3か月後も変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・コンスタントな受注契約が見込まれる一方で、大型案件の受注見込みはない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・資材価格の高騰が続いている間は状況は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・中国向け機械装置の輸出が増えるという取引先のプラスの情報もあるが、その他の製造業や建設関連等はマイナスの情報しか入っていない。この状況でマイナス金利政策が解除されれば中小企業の経営環境はますます厳しくなり、景気回復に悪影響を及ぼすことを危惧している。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・顧客の反応が冷え込んだ状況は続くともみている。何らかの策を講じていく必要がある。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・プラス要素が何もないため、景気は変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	広告業協会（役員）	・6月から始まる定額減税の効果がどれだけあるかは疑問だが、消費行動を促すキャンペーンが活発化することを期待している。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・明るい見通しはない。
	<input type="checkbox"/>	公認会計士	・小売、サービス、建設業等については順調に売上が回復して業績も回復傾向が続くが、一部製造業については厳しい状況が続く。全体としては現状と変わらないとみている。
	<input type="checkbox"/>	コピーサービス業（従業員）	・物価上昇が続いており、消費意識の悪化要因となっている。金融政策の変更もどのように影響するのか不透明である。
	<input type="checkbox"/>	その他企業〔企画業〕（経営者）	・極端に悪くなることはないともみているが、好転する材料が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	その他企業〔協同組合〕（職員）	・業態により若干の温度差はあるが、総じて良い材料は見当たらない。

	▲	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・全ての面で地方経済と中央経済の差が拡大している。地方の中小企業は賃上げもできない。優秀な人材の中央集中も止まらず、社員確保も緊喫の課題である。経済格差から貧富の差に至るまで深刻な問題になりつつある。中山間地域の人口減少、高齢化の進展により、地方の荒廃スピードが加速している。
	×	農林水産業（従業者）	・肥料は高値が続いており、農業資材、農業機械全般も値上がりしているため、コスト増加が収支を圧迫するとみている。
	×	窯業・土石製品製造業（職員）	・2024年度の需要想定は2023年度想定と比べて減少となっている。明るい兆しが全くみえない状況である。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・人手不足に2024年問題も重なり、新規求人数は前年を上回るが見込まれる。賃上げの動きが中小企業にも波及すれば、消費も拡大し徐々に景気は良くなる。
	□	人材派遣会社（経営者）	・求人募集を掛けている企業との打合せのなかで、景気が後退するようなネガティブな情報はない。
	□	人材派遣会社（社員）	・大手企業の動き次第である。計画がまだ決まっていない状況のため、2～3か月は変化がないとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・業種によって偏りはあるが、求人数に大きな改善はみられない。製造業が持ち直してくると景気回復を実感できるようになるとみている。
	□	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・主な取引先企業からも景気改善の実感はないという情報が多い。大きな改善も見込めず、期待感もみられない。
	□	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・周辺企業の春闘結果をみても、中央企業ほどのペースアップはない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・物価高が続く状況で明るい材料も乏しく、売上の回復は当面期待できない。
	□	職業安定所（職員）	・人手不足が顕著で採用活動は旺盛な状況が続いているが、企業の利益は賃上げや資材高騰等により増加していない。この傾向は当面続くとみている。
	□	職業安定所（職員）	・3月の新規求人数は前年3月と同水準で推移している。
	□	職業安定所（職員）	・物価高騰の影響が続いており、プラスの要因が見当たらない。
	□	民間職業紹介機関（職員）	・企業により増産、減産とばらつきがある状況は続くとみている。
	□	学校〔専門学校〕	・経済活動や景気に動きが出るような施策等がみられないため、企業側も大きな動きが取れないとみている。
	▲	人材派遣会社（社員）	・現状の推移をみても、求人数の減少傾向は避けられない。同業他社からも同じような話を聞く。
	▲	アウトソーシング企業（経営者）	・今後もA Iは進歩し、仕事は減少するとみている。
	▲	職業安定所（職員）	・前月に続き中小企業の倒産や企業整備が相次いでおり、会社都合離職者が目立っている。特に改善の見込みがない各種部材費や原材料費、人件費、エネルギー価格の高騰は製造業の停滞を招き、全業種に波及することが懸念される。物価高騰も継続していることから消費も低迷し、景気はやや悪くなるとみている。
	×	*	*